



管理の概要

- [Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool, on page 1](#)
- [オペレーティング システム サポート, on page 2](#)

Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool

Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool はクライアント側アプリケーションとして実行し、システムコンポーネントの動作をリアルタイムで監視します。Unified RTMT は Hypertext Transfer Protocol Secure (HTTPS) および Transmission Control Protocol (TCP) を使用し、次の項目を監視します。

- システムのパフォーマンス
- デバイスのステータス
- デバイスの検出
- コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) アプリケーション

Unified RTMT は、HTTPS を使用してデバイスに直接接続し、システムの問題をトラブルシューティングできます。



Note Unified RTMT がデスクトップ上のアプリケーションとして動作していない場合でも、アラームやパフォーマンス モニタリングの更新などのタスクは、サーバ上でバックグラウンド処理として続行されます。

RTMT を使用すると、次の作業を実行できます。

- システムの健全性を監視するための、事前に定義された一連の管理オブジェクトを監視する。
- 値がユーザ設定のしきい値を超えるか下回ったときに、オブジェクトのさまざまなアラートを電子メール メッセージ形式で生成する。
- トレースを収集し、Unified RTMT に備わっているさまざまなデフォルト ビューアで表示する。

- SysLog ビューアで syslog メッセージを表示する。
- パフォーマンス モニタリング カウンタと連動する。
- シスコ・ユニファイド・コミュニケーション・マネージャのみ: Q931 メッセージを変換する。

コンピュータにインストールされている Unified RTMT の1つのコピーを使用すると、複数のサーバまたは複数のクラスタを同時に監視することができます。たとえば、次のエンティティをすべてモニタできます。

- 1 台のサーバ上の Cisco Unified Communications Manager 製品。
- 1 台のサーバ上の Cisco Intercompany Media Engine (Cisco IME) 製品。
- 1 台のサーバ上の Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service (IM and Presence Service) 製品。
- クラスタ上のサーバ (クラスタの健全性をモニタするため)。

異なるサーバ上の製品を監視するには、Unified RTMT の新しいインスタンスを使用する必要があります。

オペレーティングシステムサポート

RTMT は、次のオペレーティングシステムのいずれかを実行しているコンピュータにインストールできます。

- Windows 7
- Windows 8
- KDE や GNOME クライアントを搭載した Linux



Note Windows 7 以降の場合は、Unified RTMT を [管理者として実行] モードで起動する必要があります。そうしない場合、ユーザアクセスコントロール (UAC) 権限が無効です。

Unified RTMT をインストールする場合は、次のことを考慮してください。

- Windows OS プラットフォームで Unified RTMT を実行するには、少なくとも 128 MB のメモリが必要です。
- Windows OS プラットフォームで Unified RTMT を実行するには、少なくとも 300 MB のメモリが必要です。
- Windows Vista または 7 プラットフォームで Unified RTMT をインストールすると、このユーザアカウント制御のポップアップメッセージが表示されます: “未確認のプログラムがコンピュータにアクセスしようとしている。” [許可] をクリックして、Unified RTMT のインストール作業を続行します。

- Unified RTMT は、32 ビットおよび 64 ビット Windows プラットフォーム上で動作します。

